

7. 道路整備

7.1. 広域的な道路網状況

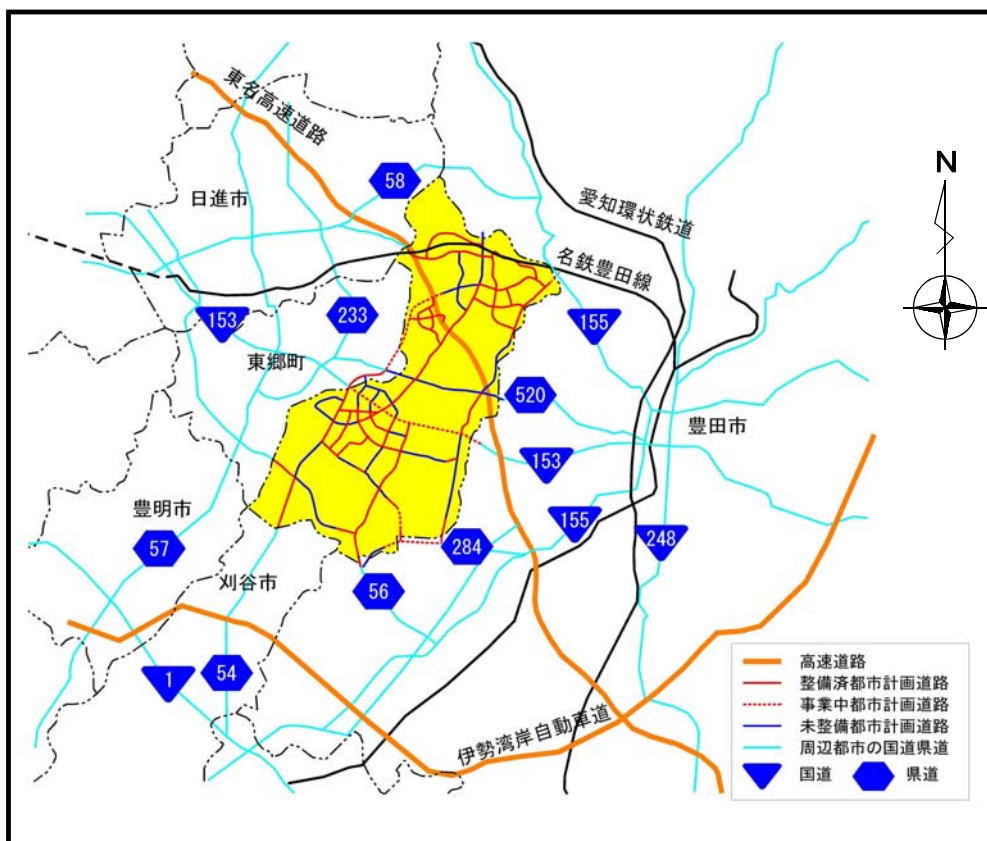
- ・ 三好町は愛知県のほぼ中央部に位置し、東名高速道路（東名三好 IC）等を介し、名古屋市中心部や空港、港湾、他県等広域的に繋がれている。
- ・ 近隣の名古屋市や豊田市へは、東西に走る国道 153 号により結ばれ、東名高速道路と併せて広域的な道路としての役割を担っている。
- ・ 豊田市、刈谷市、日進市、東郷町等の周辺都市とは、国道、県道レベルの道路で結ばれている。

■愛知県広域道路ネットワーク図



資料：中部プロジェクトマップ 2006

■三好町周辺の道路ネットワーク図（三好町内は都市計画道路を示す）

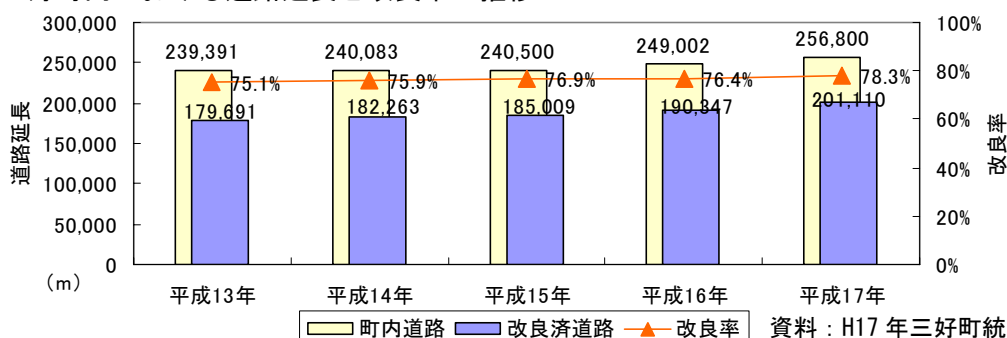


7.2. 三好町の道路状況

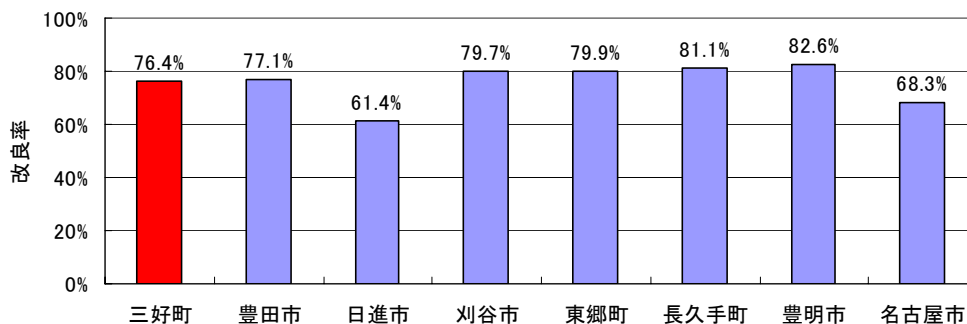
（１） 町内道路の整備状況

- ・ 町内道路、改良済道路の延長は微増の傾向にあり、改良率についても同様の傾向にある。
- ・ 周辺の他都市と概ね同程度の道路改良率となっている。

■三好町内における道路延長と改良率の推移



■三好町と周辺都市の道路改良率※

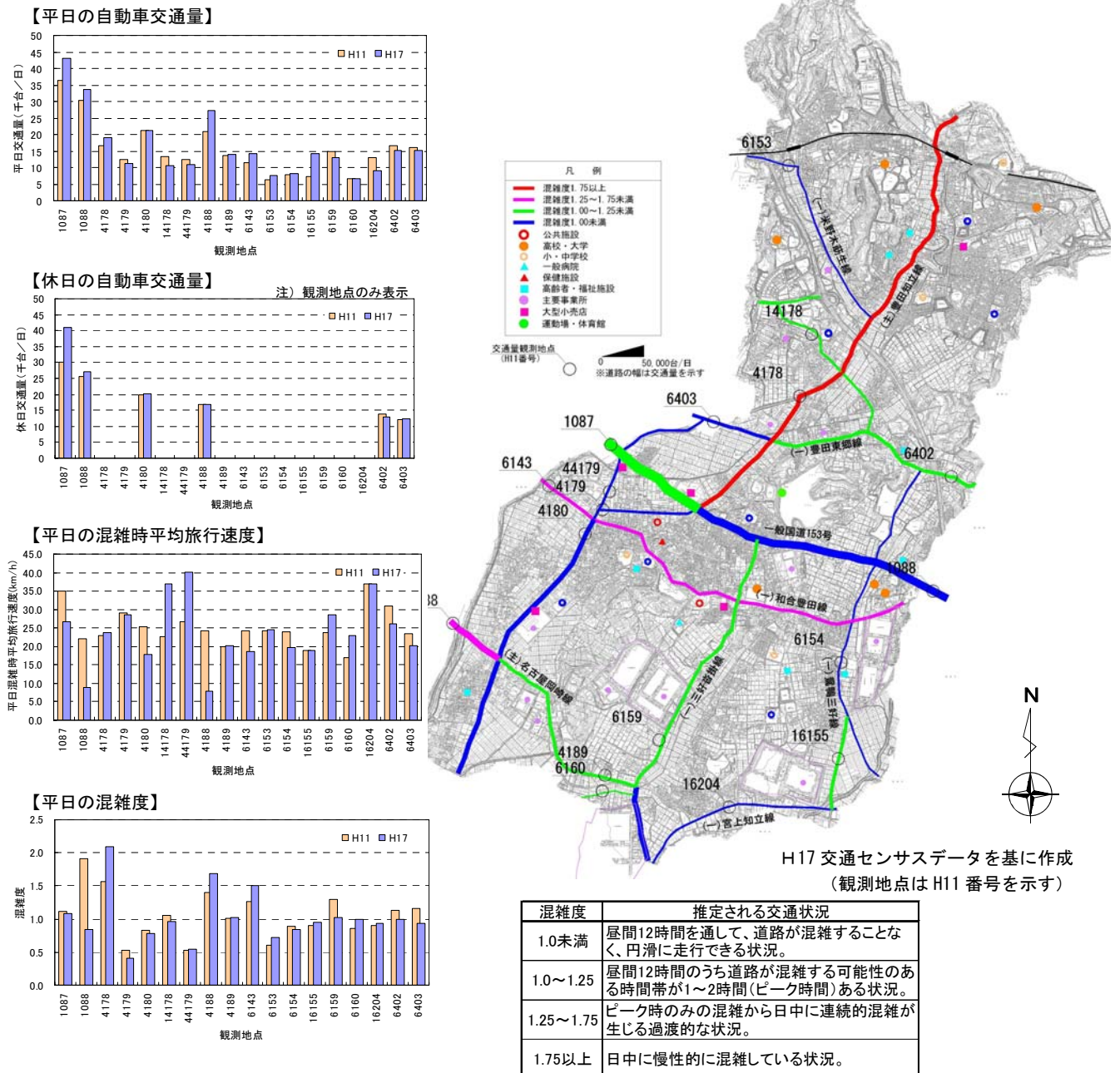


※道路改良率：道路実延長（道路法で一般交通に供する道路で、一般国道及び市町村道の延長）に対して、道路改良済延長（道路を拡幅、路盤改良、整備し、人や車両が通行する道路をセメント、アスファルト系及び簡易舗装した道路の延長－現道舗装は含まれない）の割合を表している。

(2) 町内道路の交通状況

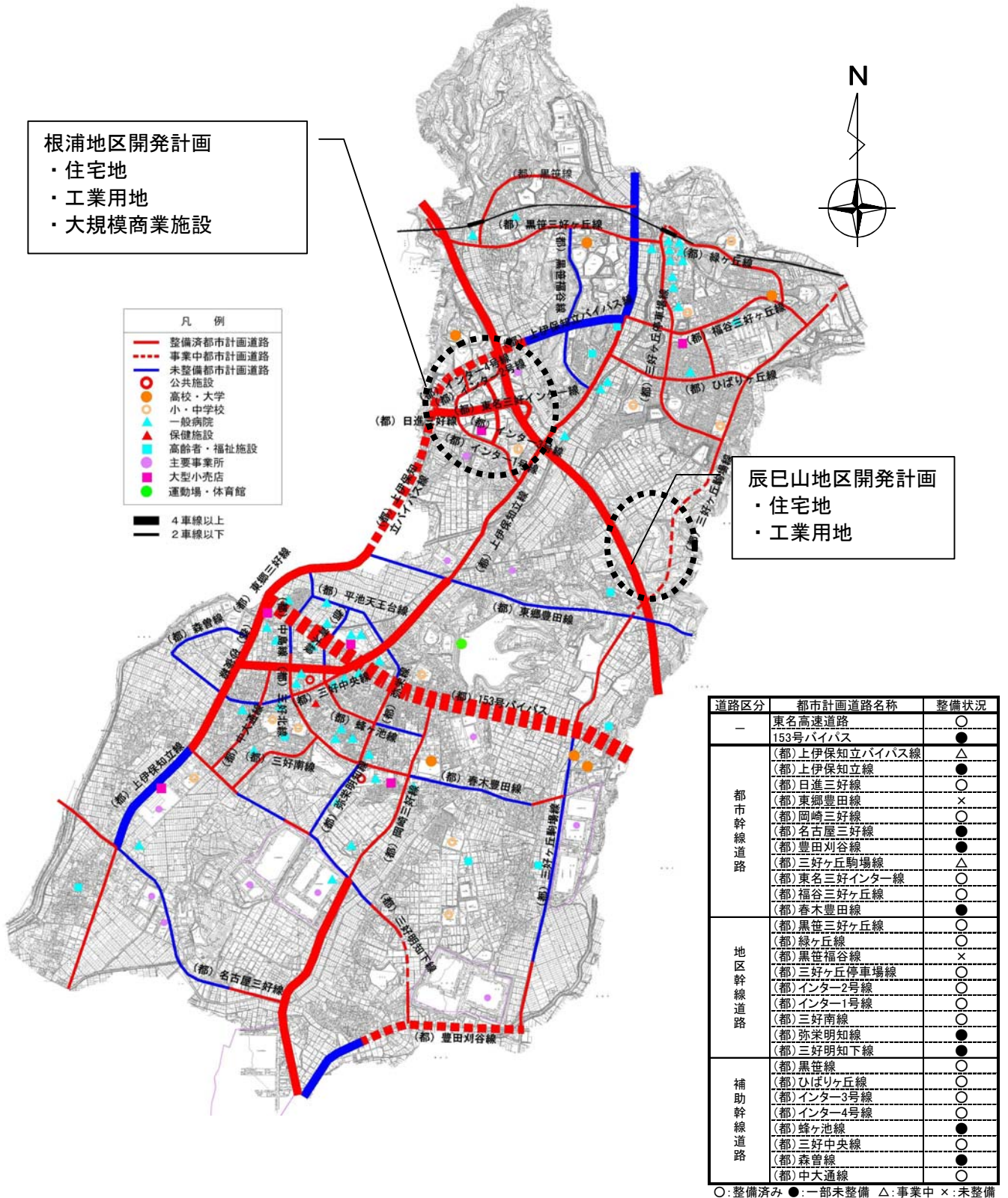
- ・ 国道 153 号は交通量が多く 40 千台/日を越える。1 日を通した混雑度は高くないが、混雑時の旅行速度は低く、ピーク時では部分的に激しい道路混雑があることが伺える。
- ・ 国道 153 号と平行して東西に走る和合豊田線は、混雑度が 1.5 と比較的高くなっている。
- ・ 東西方向は交通量が多いものの、複数の幹線道路等があり交通量が分散される。国道 153 号の北側においては、南北方向の主要道路は豊田知立線のみであるため、混雑度が極めて高くなっている。
- ・ 国道 153 号や和合豊田線、豊田知立線といった主要道路では、平成 11 年に比べ交通量が増加しており、特に国道 153 号では休日交通量が大きく増えている。

■道路交通センサスによる三好町内道路交通の状況



(3) 都市計画道路の整備状況

- ・ 開発計画のある根浦地区や辰巳山地区の周辺の都市計画道路には、事業中や未整備の部分がある。
- ・ 国道 153 号以北の南北交通は(都)上伊保知立線へ集中しているが、(都)上伊保知立バイパス線の完成によって交通量が分散され、混雑度が低下することが期待される。

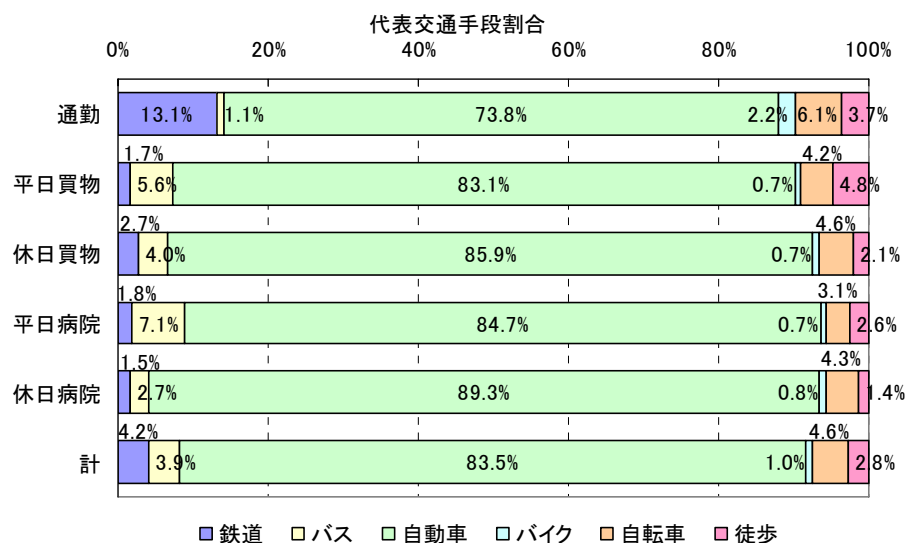


7.3. 三好町における自動車流動の状況

【自動車利用の状況】

- ・ 自動車利用割合が極めて高く、全体では 80%を超える。
- ・ 通勤目的では鉄道利用割合が 10%を超えるものの、自動車利用割合も 70%以上と高い。
- ・ 買物や通院などの目的では、ほとんどが自動車を利用している状況にある。

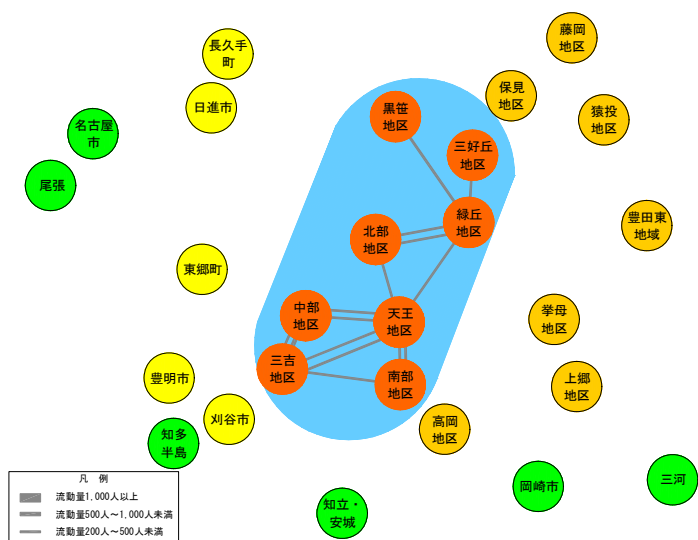
■三好町民の代表交通手段分担率（人の動き調査から）



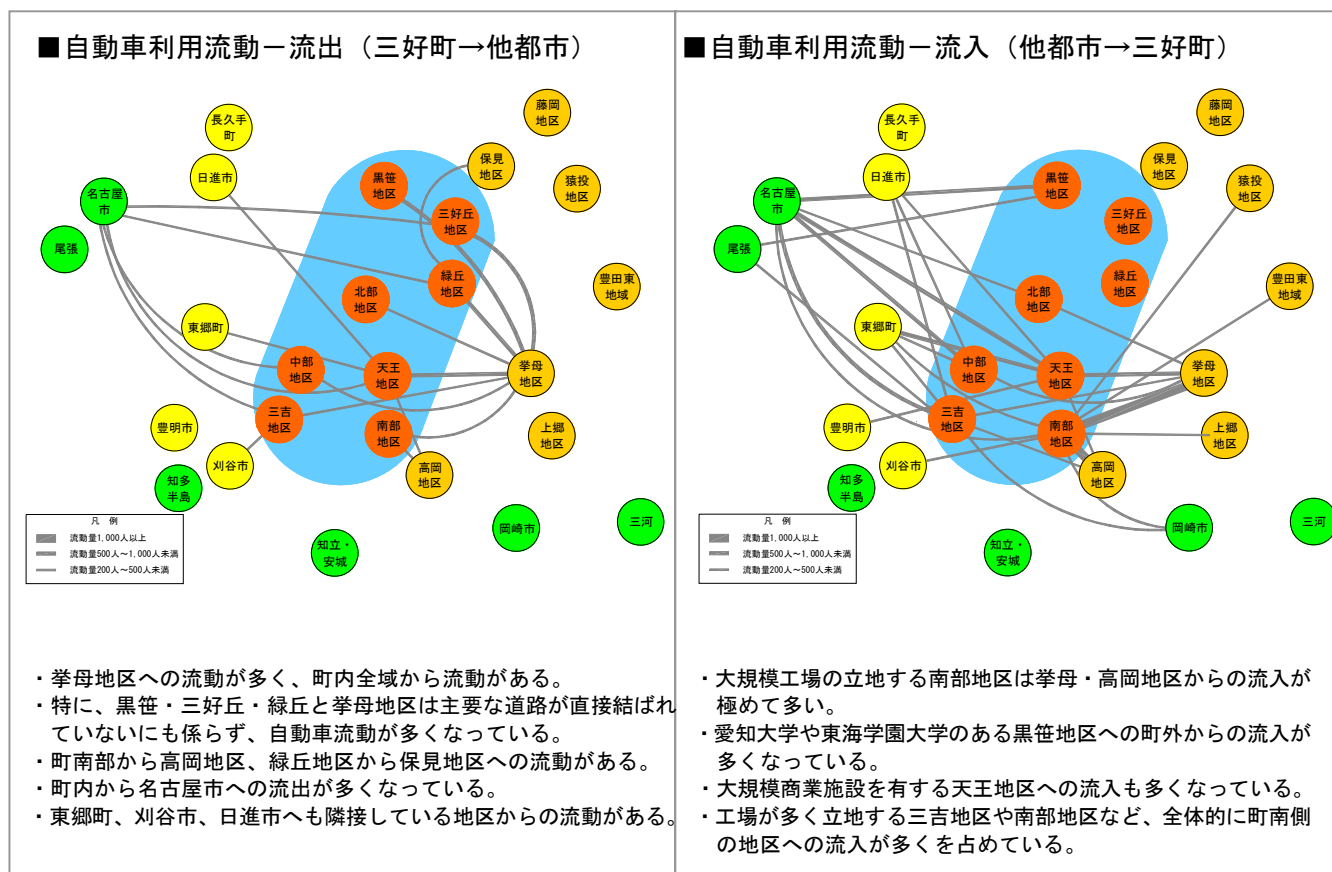
【自動車流動の概況】

- ・ 自動車流動では、町内流動よりも名古屋市、豊田市の拳母・高岡地区などからの流入が極めて多くなっている。
- ・ 流出においても町内のほぼ全域から名古屋市、豊田市（拳母地区）への流動が多いが、比較的公共交通利用割合も高い名古屋市に比べ、豊田市へは自動車利用が多い状況にある。
- ・ 三好町内でみると、天王地区を中心とした流入出が多いが、他都市からの流入では天王地区に加え南部地区が極めて多くなっている。

■自動車利用流動一町内（三好町←→三好町）



・天王地区との流動が多くなっており、三好町では天王地区を中心とした人の動きとなっている。



7.4. 町内道路の現状の課題

- ・ 町全体では、比較的東西方向の道路は充実しているが、南北方向の道路が不足している。
- ・ 名古屋市～三好町～豊田市を結ぶ広域的な一般道は国道 153 号線のみであるため、三好町を通過する交通や名古屋市～三好町間、豊田市～三好町間を移動する交通が集中し混雑の激しい時間帯がある。
- ・ (都)上伊保知立線や国道 153 号を補完する道路整備が十分でない。
- ・ 町北部（黒笹・三好丘・緑丘）から挙母地区への流動に対応する道路計画が不十分である。
- ・ 開発が進む根浦地区、辰巳山地区、及び豊田市浄水駅周辺地区へのアクセス道路が十分に整備されていない状況にある。

7.5. 交通政策からみた三好町の道路整備方針

(1) 基本方針

南北方向の道路網や広域交通へのアクセスなどは脆弱な状況にあり、住民の生活交通と工場からの産業交通の混在や、交通渋滞の発生などが問題となっている。そのため、産業活動の円滑化や、都市生活の利便性向上を支援する都市内道路ネットワークの充実を目指す。

また、三好町の市街化区域は、大規模工業地や開発団地など、いわゆる飛び地となっている部分が多く都市機能が散在化している。そのため、市街地を結びつける交通体系を構築し、町内の一体化や都市機能の連携強化に努める。

【交通政策から見た道路整備方針】

■幹線道路においては都市計画道路の整備を促進し、円滑な流動を実現させる。地区内の生活道路・区画道路では、通過交通を抑制するとともに、人が優先された安全で安心な道路を整備する。

■三好町全域の道路網の骨格を形成する幹線道路を、機能に応じて「都市幹線道路」、「地区幹線道路」、「補助幹線道路」に区分し、さらに地区内で日常的に利用される「生活道路・区画道路」を加えた4つの機能に分類し、その役割に応じた整備を促進する。

●都市幹線道路は、広域的な都市間流動の役割を担い、広域的な人・モノの交流を促進させるとともに、三好町を通過する交通を円滑に捌く機能の充実を図る。

●地区幹線道路は、都市幹線道路の補完的役割を担い、都市幹線道路を有機的に結ぶネットワークとして三好町内の主要な流動に対応し、町内交通の円滑化に資する機能の充実を図る。

●補助幹線道路は、自動車交通の集中する地域において地区幹線道路を補完する役割を担い、幹線道路全体の円滑化と生活道路への自動車流入抑制に資する機能の充実を図る。

●生活道路・区画道路は、通過交通を抑制できる道路形態で構成し、安全・安心に生活できる道路空間整備の充実を図る。

（２）道路ネットワークの整備方針

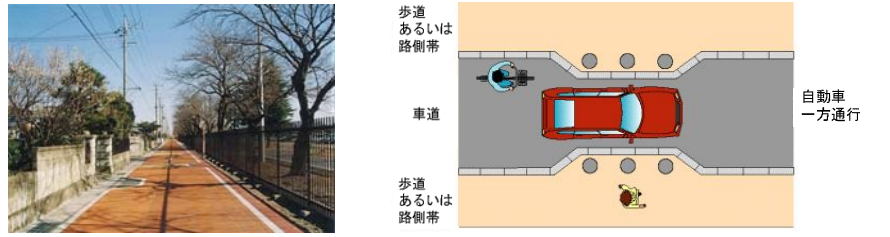
■幹線道路の整備方針

都市幹線道路の整備	都市間流動と町内通過交通に対応する機能整備
- 地域の連携強化、東名三好 IC へのアクセスの強化、産業交通と生活交通の分離を図る。 - 南北方向に縦断する路線の整備をする。 - 根浦地区や辰巳山地区の開発計画のある地区との連携を強化する。 - 豊田市浄水地区に完成予定の加茂病院へのアクセスできる道路を確保する。 【対象路線】 （都）153 号バイパス、上伊保知立バイパス線、上伊保知立線、日進三好線、東名三好インター線、東郷豊田線、岡崎三好線、名古屋三好線、豊田刈谷線、三好ヶ丘駒場線	

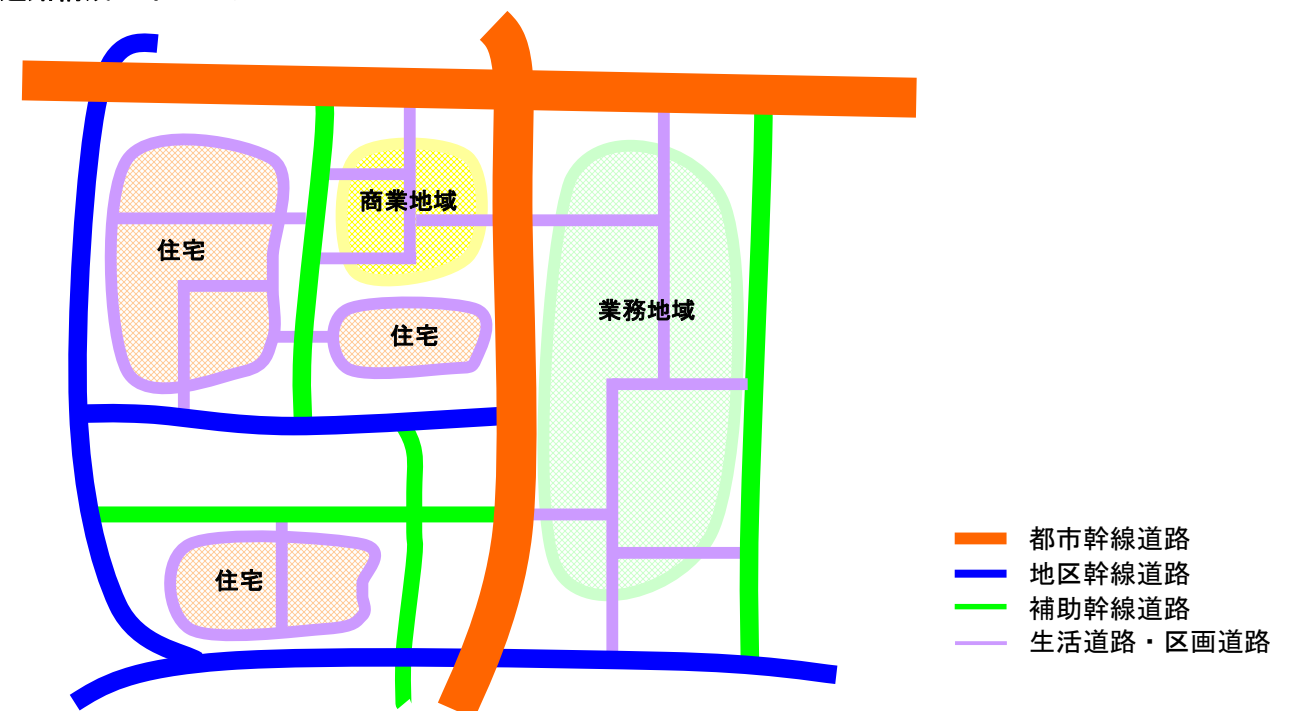
地区幹線道路の整備	都市幹線道路を補完し町内の主要な流動に対応する機能整備
- 東名三好 IC へのアクセスの強化を図る。 - 町内の流動の多い地区を結ぶことにより町内の連携を強化する。 - 都市幹線道路にアクセスする道路を充実する。 【対象路線】 （都）福谷三好ヶ丘線、黒笹三好ヶ丘線、黒笹福谷線、三好ヶ丘停車場線、春木豊田線、三好中央線、平池天王台線、弥栄線、三好北線、中島線、インター1～4 号線、三好南線、弥栄明知線、三好明知下線、（上伊保知立線）、（岡崎三好線）	

補助幹線道路の整備	地区幹線道路を補完する機能整備。
- 上記の幹線道路を結ぶことにより地域内の連携を強化する。 - 中心市街地を通る道路は回遊動線として道路景観等にも配慮して整備する。 【対象路線】 （都）黒笹線、ひばりヶ丘線、緑ヶ丘線、蜂ヶ池線、森曽線、中大通線、青木線	

■生活道路・区画道路の整備方針

生活道路・区画道路の整備	安全・安心に生活できる道路空間を整備
- 通過交通を抑制することにより、生活道路としての安全性を確保する。 - 歩車分離道路や歩車共存道路の設置により、歩行者・自転車にとっても快適な（防犯面、交通安全面等）道路環境とする。 - 日常生活におけるオープンスペースとして、居住快適性の面だけでなく、防災や交通安全など様々な側面から重要な空間として整備する。 - 地域住民との連携のもと、各地域のまちづくりと連動しながら、生活道路の整備・充実を図る。	
【生活道路の整備例】 自動車の速度抑制のためにハンブやクラックを設置	

■道路構成のイメージ



■幹線道路ネットワークの形成

